

議案に対する質疑

【9月14日】

その2 平成15年度歳入歳出決算（議案第48号～議案第56号）

発言議員	議案件名	要旨 答弁者
6番 河田晃明議員	<p>議案第48号 平成15年度羽生市一般会計歳入歳出決算について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公債費比率が平成14年度と比して減少したのはなぜか。16年度の見通しは。</li> <li>2. 市債残高削減対策は。（15年度の努力結果と今後は）</li> <li>3. 市や職員の努力によって収入効果があったか。14年度と比してどうか。（全体的収入/税対策・補助金・手数料・広告料等）</li> </ol>	企画財政部長
14番 落合信夫議員	<p>議案第48号 平成15年度羽生市一般会計歳入歳出決算</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国庫補助負担金に関して小泉内閣の「三位一体」改革の最近の動向と当局の見解はどうか。地方6団体で提案している「国庫補助負担金等に関する改革案」について当局の見解は。</li> <li>2. 財政危機突破第1年度の決算を、財政と行政の点からどのように分析しているか。公債費比率等や不用額の問題点はどうか。保健、医療、予防、貸付金等、削減すべきでないものが削られているようだが。</li> </ol>	<p>① 市長</p> <p>② 企画財政部長</p>
13番 蜂須直巳議員	<p>議案第48号 平成15年度羽生市一般会計歳入歳出決算について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財政危機突破、財政再建元年と位置づけ、人件費等も含め60項目にも及ぶ、諸施策を断行し、約2億7千万の経費削減の取り組みを展開してきた結果、確かに細かい不用額も増加し実質収支で9億2,796千円が出ているが全体的評価をどう見ているのか。 上手くいった面、一考を要する施策等の分析など 全体的分析をどの様に見ているのか。</li> <li>2. 収入未済額、不納欠損額に対する取り組みは評価すのものもあるが、その内容をもう少し分析する事でもう少し改善が出来ないだろうか。 具体的には、各税目毎の滞納者（社）数 金額規模別分布 1万未満、5万未満、10万、50万、100万、500万未満、500万以上 滞納期間別分布 1年以上、2年、3年、4年、5年、6年以上 不納欠損額についての理由別分布、分類を 住居不明、生活困窮、死亡、倒産、その他 等に分類、分析する事で、どこの部分に力を注ぐべきか一覧表を作る事も必要と考えるが。</li> <li>3. 浸水住宅改善資金貸付金のように全く利用されない制度、利用の少ない施策について、どの様に分析し、どの様に対処しようと考えているのか。</li> <li>4. 総務費中の選挙啓発費（P90～91） 事業額が極めて少ない。 低投票率の一因になっていないか。92,797円</li> <li>5. 歳入の財産売払い収入（土地売払収入）13,553,695円 具体的にはどこ。何㎡。 売値は適正価であったのか。</li> </ol>	<p>① 企画財政部長</p> <p>② 総務部長</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>③ 企画財政部長</p>